

モーセが歩んだ契約の旅



こんにちは、みなさん。私はモーセです。
 みなさんの生きている時代はどんな時代ですか。
 神様からの契約を握って世界福音化をしていますか。それとも、福音を失って、
 サタンの奴隷のようになっていますか。
 イスラエルの民が契約をのがして奴隷になっていた時代に、私はレムナントとして
 神様から召されました。
 私の話を読んで、みなさんがまだ子どもの間に、これから歩んで行く契約の旅を
 見つけることができたらうれしいです。

01. 奴隷となったイスラエルの民が建てた

「ピトム」と「ラメセス」はなぜでしょう (出1:11)

モーセが生まれる前からパロ王は、エジプトの奴隷であったイスラエルの民に、倉庫の町ピトムとラメセスを建てるように言いました。

みなさんは、アニメなどを見て、エジプトの奴隷はピラミッドやスフィンクスを作っていたのだと思っていたでしょう。

倉庫の町というのは、「国が万に備えているいろいろなものを蓄えておくために作った

町」のことで、ピトムとラメセスは倉庫の町でした。ところが、このピトムとラメセス、ピトムにはエジプトの偶像であった「アトム神の家」という意味があり、ラメセスには「ラメセス王の財産、土地」という意味があったのです。契約を逃した神様の民は、他の神のために働かされていたのです。

02. 男の子が投げ込まれた

ナイル川はどんなところですか (出1:22)

パロ王が、生まれた男の子はみなナイル川に投げ込むように、と言いました。そこには、恐ろしいカバと世界で二番目に大きなワニである「ナイルワニ」がいました。このナイルワニは成長すると、なんと7mにもなる個体もいて、そのかむ力はカバの3倍だと言われています。モーセがそこで死なずに王女のところに行くことになったのは、神様の導きでした。



03. なぜ「レビの家のひとりの人」「レビ人の娘」ということを言われたのでしょうか (出2:1)

モーセの両親は二人ともヤコブの12人の息子の中の一人、「レビ」の子孫でした。神様は出エジプトの後に、礼拝を担当する祭司としてレビ人を立てて、偶像の奴隷になった人々が神様を礼拝する神様の民になったときに、彼らが礼拝をささげることができるようにされました。神様がモーセの未来を準備されたのです。(出3:12、18)

04. 神様がモーセを呼んで

そのあと殺そうとされた理由 (出4:24~26)

パロ王のところに行きなさいとモーセに命じた神様が、そのモーセを殺そうとされました。モーセがこの日を忘れることがないようにするためです。モーセの妻ツポラが息子に割礼を授けたので、神様はモーセを放されました。このとき、神様はモーセに次の世代に契約を伝えることを逃してはならないということをおしなされ、モーセはそのことを生涯握りました。



05. 神様が守るように言われた三つの祭りを理解しましょう

逾越祭 (出23:15)から説明しましょう。逾越というは「通り過ぎた」

「越えた」という意味です。逾越祭は、かもいと門柱に羊の血を塗ったとき、長子を殺すわがわいから救われた事件を記念する祭りです。このとき、種を入れないパンを食べたので、種なしパンの祭りとも言います。種を入れないパンとは、パン種を入れないのでふくらんでいないパンのことです。小羊の血は、イエス・キリストの十字架事件の影(象徴)です。逾越祭を守りなさいということは、十字架の契約をずっと忘れてはいけないという神様のみこころなのです。

初穂の刈り入れの祭り (出23:16)とは、春の麦の刈り入れ時期に守った一日だけの祭りだったのでつけられた名前です。種を入れないパンを食べたから49日目(7X7=49日目)の祭りなので七週の祭りとも言います。また、逾越祭が終わってから50日目になることから五旬節とも呼ばれます。「旬」とは、10日間という意味です。初代教会が五旬節の日に臨んだ聖霊を体験したように、初穂の刈り入れの祭りを通して聖霊なる神様が、私たちを導いてくださるという契約を覚えるべきです。

収穫祭 (出23:16)は、その年の農作業がすべて終わる時期にちなんでつけられた名前です。また、荒野40年の生活を記念するために一週間仮庵に住むので、仮庵の祭りとも言います。よく似た名前の収穫感謝祭も収穫祭と同じ系統の祭りです。私たちは収穫祭を通して、実を天国の倉庫におさめる伝道を忘れないようにしましょう。

私たちの生活に適用しよう!

1. 出エジプト記1章を読んで助産婦が恐れたことと

パロ王が恐れたことはなんだったのか書いてみましょう

- 1) 助産婦が恐れたこと
- 2) パロ王が恐れたこと

2. いま、福音、伝道がしっかりと伝えられていますか

あなたの家族の中で、救いの道を他の人にわかりやすく説明することのできる人はいますか。その人の名前を書いてみましょう。

4か

モーセを通して三つの祭りが 伝えられました

出 23:14~19 年に三度、わたしのために祭りを行なわなければならない。種を入れないパンの祭りを守らなければならない。わたしが命じたとおり、アビブの月の定められた時に、七日間、種を入れないパンを食べなければならない。それは、その月にあなたがエジプトから出たからである。だれも、何も持たずにわたしの前に出てはならない。また、あなたが畑に種を蒔いて得た勤労の初穂の刈り入れの祭りと、年の終わりにはあなたの勤労の実を畑から取り入れる収穫祭を行なわなければならない。年に三度、剪字はみな、あなたの主、主の前に出なければならない。わたしのいけにえの血を、種を入れたパンに添えてささげてはならない。また、わたしの祭りの脂肪を、朝まで残しておいてはならない。あなたの土地の初穂の最上のもを、あなたの神、主の家に持って来なければならない。子やぎを、その母親の乳で煮てはならない。

1. 種を入れない祭りである過越祭を守りなさいと言われました (出 23:15)

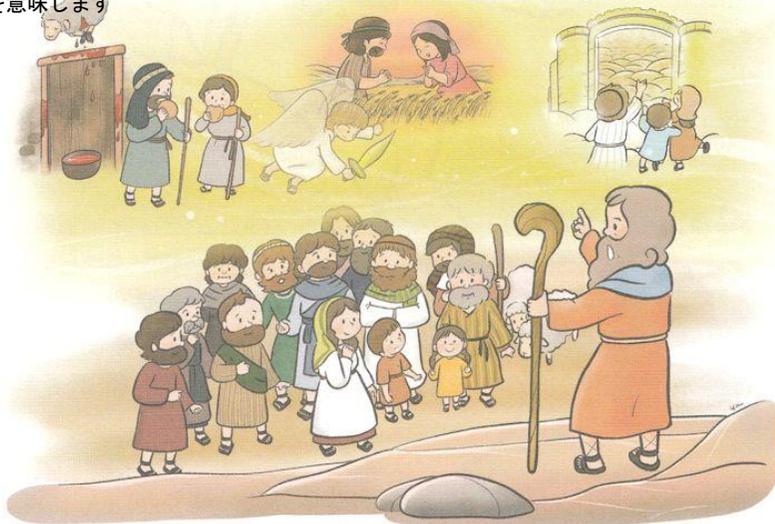
- 1) 神様は7日間種を入れないパンを食べなさいと言われました (出 23:15)
- 2) 契約の血を塗った日、出エジプトした事実を覚えるようにということです (出 23:15)
- 3) 契約を握った人が奴隷から解放されたことを意味します

2. 初穂の刈り入れの祭りを守りなさいと言われました (出 23:16)

- 1) 五旬節の別の呼び方です
- 2) 畑に種を蒔いて得た初穂を刈り入れることです
- 3) 神様の力と聖霊の働きを意味します

3. 収穫祭を守りなさいと言われました (出 23:16)

- 1) 収穫した穀物を集めて貯蔵するためです
- 2) 私たちの未来を神様が保証してくださいました
- 3) 天国の祝福を意味します



聖日みことばのタイトル

聖日聖書箇所



礼拝の準備をして礼拝をささげ
みことばを私の生活に適用する
ことまで、すべてが礼拝です

礼拝の準備のチェック

- 聖書
- 献金
- 筆記用具
- <子どもの祈りの手帳>
- 週報を読む

一週間握るみことば

A grid area for writing the weekly devotionals, consisting of a 10x10 grid of small squares.

